

いけばな小原流がシチズン エルの新モデル発表を記念して「光と豊かな時間」をテーマにいけばなを特別展示

CITIZEN *L* × いけばな小原流 × 婦人画報

「美」、世紀を超えて

2017年9月1日(金)～9月29日(金)

GINZA SIX 1階 シチズン フラッグシップストア 東京



明治半ばに創始した伝統を重んじつつ、革新を続けるいけばな小原流。来年創業100周年を迎えようとする、日本を代表する時計ブランド、シチズン。100年以上にわたって、女性のライフスタイルを提案し続けてきた婦人画報。いけばな・時計・メディア……。

ジャンルは異なりますが、この3者が100年という世紀を超えて紡ぎ、受け継いできたもの、それは「美」。

その「美」は、守り続けてきたから存在するのではなく、新たな創造と、変革を恐れぬ挑戦の連続があったからにほかなりません。美しい「花」、美しい「時」、美しい「女性」。

百年雑誌「婦人画報」が提案する「日本のよきヒト・モノ・コト」がこの秋、銀座に集います。

シチズン エルとは

2012年から欧州・北米を中心にデビュー。ブランドコンセプトは -Beauty is Beauty- 美しいものは美しいマインドから生まれる、内側の美が外側を輝かせる。大人の女性が身に着けるにふさわしい、時代を超える、普遍的な美しさを追求し、ミニマルな美しさの中にエレガンスを表現したデザインが特長。光さえあれば地球上のどこでも動き続ける光発電エコ・ドライブを搭載。環境・人権に配慮したシチズンが捉える「エシカル」精神をもった、グローバルウォッチブランドです。

婦人画報とは

1905年創刊、日本で最も歴史ある女性ライフスタイル誌。初代編集長は国木田独歩。年齢を重ねるほどに咲き続ける知的で美しい女性のために、ファッション、カルチャー、美容、旅、食、などをテーマに、上質な人生のヒントをお届けしています。



期間中、合計5万円以上のCITIZEN L商品をお買い上げの方に先着で婦人画報セレクトのオリジナルベルティをプレゼント

小原流とは

小原流は19世紀末、小原雲心が「盛花」という新形式のいけばなを創始して、近代いけばなの道を開いたことに始まります。「盛花」は、口の広い器(水盤)に材料を「盛る」ように花を展開させるもので、それまでのいけばなの、いわば線の動きを主にした構成にくらべ、面的な広がりや強調したところに特徴があります。創流から1世紀を超えてなお、盛花を基本としつつも、生活空間にふさわしいいけばなを提案しています。



いけばな小原流五世家元
小原宏貴

おはらひろき●1988年生まれ。6歳にして五世家元を継承し、日本の伝統文化である「いけばな」の普及と、芸術家として国内外の活動に力を注ぐ。現在、小原流研究院院長、公益財団法人日本いけばな芸術協会副理事長、兵庫県いけばな協合理事、大正大学客員教授、小原流ピギナースクール校長を務める。



開催場所: GINZA SIX 1階 シチズンフラッグシップストア東京
ストア営業時間: 店舗10:30～20:30、修理工房10:30～19:30
電話番号: 03-6263-9987